| 学校番号 | 1006 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書道Ⅱ | | | | | | |
| 副教材等 | ペン字　実務 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学んだことを発展させ、墨色、墨量の違い、字形や全体の構成についてより深く学びましょう。また、様々な書体を学ぶことで、書への興味、関心を深め、自己表現をさらに広げられることを目指します。
創作作品の制作を通して、生涯にわたり書を身近な存在として感じられる心情を育てます

2　学習の到達目標

・表現と鑑賞の基礎的な能力を身に付ける。
・幅広い書道活動の中で、書を愛好する心を育て、それと共に感性を豊かにし、書写能力の向上を図ることができる。
・書の伝統と文化についての理解を深めようと積極的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 漢字の書　篆書、隷書 | ・石鼓文、金文、甲骨文の鑑賞と臨書<br>・乙瑛碑、漢代木簡の鑑賞と臨書<br>・漢字作品の制作<br>（好きな熟語を色紙へ書く）<br>・創作作品の鑑賞会 | a:各古典に応じた線質、字形などの表現の技能を身に付け、作品制作に生かし、表している。互いの作品を鑑賞し、様々な表現方法の良さや美しさを味わっている。<br>b:各書体の筆使いや字形を理解し、構成を工夫している。<br>c:各書体の伝統と文化に関心を持ち、意欲的、主体的に表現技法を高めようとしている。 | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |
| | 姓名印作成(篆刻) | ・自分の名前調べ(各書体)<br>・白文による姓名印の制作 | a:印稿づくりにおいて小筆の性質を生かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。<br>また互いの作品を鑑賞し、篆刻による書のよさや美しさを味わっている。<br>b:篆刻における分間布白を理解し、全体の構成を工夫している。<br>c:名前の各書体調べを通して書体の変遷について関心を持ち、意欲的、主体的に取り組もうとしている。 | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |
| 2学期 | 漢字の書(草書、行書、楷書) | ・草書の成立<br>・書譜、十七帖の鑑賞と臨書<br>・集王聖教序、祭姪稿の鑑賞と臨書<br>・薦季直表、始平公造像記<br>・孟法師碑 | a:各書体・各古典の比較を通して、様々な表現方法の良さや美しさを味わい、古典に応じた用筆・運筆を身に付け表している。<br>b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。<br>C: 楷・行・草書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 生活の中の書 | ・紙を染めてみよう<br>・年賀状（自分で染めた葉書に書く） | a:創造的な書表現をするために、用具・用材と表現効果が密接に関係していることを理解している。書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解している。<br>b:漢字と仮名の調和した線質、字形や文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。<br>c:自分で葉書を染めることによって、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。 | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |
| 3学期 | 仮名の書 | ・仮名の書の特徴<br>・高野切第一種の仮名の練習<br>・高野切第一種の臨書と短冊の書式<br>・三色紙の鑑賞と臨書 | a:創造的な書表現をするために、基本的な構成などを理解し表している。仮名の書の伝統と文化について幅広く理解し、その良さや美しさを味わっている。<br>b:古筆のもつ伝統的な美を感受し、自己の表現を構想し工夫している<br>c:自らの感性や意図に基づいて、単体、連綿や全体の構成を工夫し、主体的な表現に取り組もうとしている。 | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |
| | 漢字仮名交じりの書 | ・意図に応じた表現の工夫<br>・古典の書風を生かした表現の工夫<br>・創作作品の制作（好きな詩歌や俳句、短歌を書く）<br>・作品発表 | a:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け、作品制作している。また、互いの作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、鑑賞力を深めている。<br>b:これまで学習した名筆の特徴を生かし、作品の意図に即した表現の工夫をしている。<br>c:文字の選定、作品の意図に即した書体・書風・全体構成につて関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 | 作品<br>ワークシート | 作品<br>ワークシート | 作品<br>振り返りシート<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度